



大学の理数系教育と社会との接続

キャリアパスと科学リテラシー

理数系学生を受け入れる社会の側の視点から

日本物理学会では、毎年春に物理教育シンポジウムを開催しています。第1回は「新時代の物理教育を探る」と題して、国内外での物理教育改革の例、物理教育のコース設計と質の保証など、21世紀の物理教育のあり方全般について議論しました。第2回は「高校の物理、大学の物理」と題して、高校・大学間の接続を意識しながら、物理カリキュラムの全体像を俯瞰しました。

第3回では、大学の理数系教育と社会との接続を主題とします。大震災から1年経ち、理数系とりわけ物理教育の重要性は、産業界で役立つ人材の輩出だけでなく、全国民の素養としても、今まで以上に高まっているといえます。本シンポジウムでは、理数系学生を送り出す側からの視点ではなく、受け入れる側の視点から、理数系教育のあるべき姿を再認識したいと考えています。

【日時】 2012年4月1日(日) 13:00～16:30

【場所】 東京大学 小柴ホール (東京都文京区本郷7-3-1)

【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:50 「産業界が期待する物理系学生」

内田 史彦 氏 (株)日立製作所研究開発本部

13:50～14:30 「科学教育とキャリア」

田代 直幸 氏 文部科学省 国立教育政策研究所

14:30～14:50 休憩

14:50～15:30 「物理を学んだ人材と社会」

横山 広美 氏 東京大学大学院 理学系研究科

15:30～16:30 総合討論

参加費： 無料

事前申込み先： 電子メールkouza-at-jps.or.jp (-at- を @ に置き換えて下さい), またはFAX 03-3432-0997で、①氏名、②職業、③連絡先住所、④電子メールまたは電話番号をご記入の上、3月29日(木)までにお申し込みください。当日の参加申し込みも受け付けますが、参加者数等の把握のため、事前の申し込みをお願い致します。お預かりした個人情報シンポジウム運営にのみ使用します。

問合せ先： 日本物理学会事務局 物理教育委員会

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F

TEL 03-3434-2671 または上記電子メール宛